

外国人児童生徒のための学習支援事業講演会

愛知教育大学 教育創造開発機構・地域連携センター主催「2011年度外国人児童生徒のための学習支援事業講演会」は2011年11月2日（水）から11月30日（水）までの間に計3回、本学内で開催されます。

「文部科学省特別経費（連携融合事業）外国人児童生徒のための学習支援事業」の一環として行うもので、昨年度に引き続き2度目の開催です。講演会の題目、講師、開催日時、場所などは下表のとおりです。参加無料。事前の申し込みも必要ありません。興味のある方ならどなたでも参加できます。お問い合わせは、本学 教育創造開発機構運営課 Tel：0566(26)2129へ。

	講演題目	講師名	所属	開催日	講演場所	趣旨、概要、その他
1	外国人児童生徒のこころの理解と対応	茅野 理恵 氏	長野県スクールカウンセラー	平成23年11月2日(水) 13:20~14:50	第二共通棟 412教室	外国人児童生徒の支援を考えると、新しい環境への適応を目指した支援や日本語の獲得に向けた支援は積極的に行われている。しかし、苦戦している様々な子どもたちをみていると異なる視点からの支援の必要性が見えてくる。今回は、そのひとつとして、外国人児童生徒のかかえる喪失感に焦点をあてていきたいと考える。参加されるみなさんと共に、外国人児童生徒はどのような喪失感をかかえやすいのか、その児童生徒にどのように関わることができるのかを考えていきたい。
2	「地球世界」時代にめざす多文化共生 ～社会と教育が担う課題～	二谷 貞夫 氏	上越教育大学名誉教授	平成23年11月2日(水) 15:00~16:30	第二共通棟 422教室	9.11事件以来、テロと報復という連鎖は、力で相手を抑さえ込もうとする動きとなり、その動きが国際関係をはじめ、政治経済構造や社会システム全体を先導している感が強い。また、日常生活の人間関係すら、相手を抑え込もうとする弱肉強食的な関係が広がつつある。しかし、人間はそもそも類的存在であり、共存・共生を前提として生活してきた歴史的存在である。そこで目指されるのが多文化共生である。どのように共存・共生を実践していくべきか、講演を通して学生のみなさんと一緒に考えてみたい。
3	多民族国家シンガポールにおける学校での民族融合の現状と課題	John YEO 氏 Irene TAN 氏	シンガポール教育大学 講師 (National Institute of Education) シンガポール文部省・ 上級教員	平成23年11月30日(水) 13:30~15:00	第一共通棟 312教室	華人、インド人、マレー人、など多民族が混住するシンガポールの社会や学校における現状について報告いただくと共に、学校現場での多民族・多文化共生、他民族・他文化尊重の意識を学校教育においてどのように実現を図っているのか、実際の教育現場に携わる方からのお話を聞く。